

What's up,

OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分！)



世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol.16》2014年6月1日発行

【ご挨拶】 大分県企画振興部 国際政策課 課長 堀 俊郎
hori-syunro@pref.oita.lg.jp

先週は、上海において大分県人会の役員の方々と有意義な情報交換ができ、本当にありがとうございました。さて、いよいよサッカーの世界カップ・ブラジル大会が来週から始まります。今回の日本代表メンバーには、大分市出身の清武、宇佐市出身の西川が初選出、また、森重も大分トリニータで育った選手で、地元大分でも盛り上がっています。日本代表に期待しましょう！



バックナンバーはこちら <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>



大分県の海外関連施策について

海外関連施策に携わる県職員が、皆さまがお住まいの国・地域に向けて実施している県の施策等をご紹介します。ぜひ、県のPRにご協力ください！



高校教育課
課長

高畑 一郎
(Ichiro TAKAHATA)

【連絡先 (Mail)】

takahata-ichiro@pref.oita.lg.jp



高校教育課の高畑と申します。

大分県から世界各地へ赴かれ、ご活躍の皆様には、世界に通用する子どもたちの育成の観点から日頃より大きな励ましとお力をいただいているところでございます。

教育委員会では本年、グローバル人材の育成を重点方針の一つとして各取組を計画的に推進しております。本年度、大分上野丘高校が「スーパーグローバルハイスクール」の指定を受け、国際社会でリーダーとして活躍する生徒の育成を目指しその取組を始めたところです。この取組が広く県内に波及することが期待されます。また、県内希望者から選抜された生徒に対し長期・短期の留学支援を行ったり、各界のリーダーによる講演や企業訪問、グループ討議などを通して、日本を支え、世界に挑戦する気概とリーダーとしての資質の醸成を目指すなど、大分を内外から支える人材の育成に積極的に取り組んでおります。

大分県の将来を担う子どもたちを応援いただく皆様には今後ともご支援どうぞよろしくお願いいたします。



(グループ討議の様子)



Pick Up! 大分の「今」

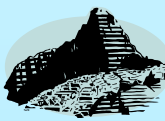
日本中で話題沸騰！ペルーの世界遺産「マチュピチュ」が県内に！？

空中都市と呼ばれるペルーの世界遺産マチュピチュの風景が、大分県宇佐市でも見られます。

場所は大分県宇佐市院内町西椎屋地区です。国道387号線を整備している際に発見され、今の展望所から西椎屋地区を眺めている光景がペルーのマチュピチュによく似ていることから、今地元では「宇佐のマチュピチュ」と呼ばれています。展望所の近くには、樹齢約1300年と言われる市指定天然記念物の大銀杏があります。神様が宿ると言われ、神秘的な雰囲気を感じさせています。

院内町は明治、大正時代にたくさんの石橋が造られ、優秀な石匠を多く輩出していました。西椎屋地区にも、棚田を支えるための立派な石垣が今でも残っています。

新緑の季節、紅葉の季節、雪景色・・・是非宇佐のマチュピチュで四季折々の風景を楽しんでくださいませ。



(参考イラスト) ペルーの「マチュピチュ」



(宇佐の「マチュピチュ」)

記事・写真提供 宇佐市観光協会 謝心嬉(しゃ しんゆ)様

NEW 大分県からのお知らせ (5月)

Festivals and Events (May - June)

[2014年5月1日]

<http://www.pref.oita.jp/site/tourism/2014may-june.html>

おおいた産業人財センター「UJターン求人情報」

[2014年5月12日]

<http://www.pref.oita.jp/site/jinzai-center/ic-job.html>

120万人夏の夜の大作戦～キャンドルナイト～

[2014年5月16日]

<http://www.pref.oita.jp/site/gomi0/candlelight.html>

大分県内企業の魅力を発見！合同企業説明会開催

[2014年5月19日]

<http://www.pref.oita.jp/site/jinzai-center/kigyouseitomeikai.html>

ごみゼロおおいた推進隊の活動事例集について

[2014年5月27日]

<http://www.pref.oita.jp/site/gomi0/suishintai.html>

中国湖北省研修員が来日しました。

中国湖北省からの研修生が、5月に来日しました。6月19日から来県し、県内での研修が始まります。名前は熊(ユウ)セイさんです。熊さんは、咸寧(カンネイ)市の外事弁公室で主に国際交流の仕事をしています。今回の県内研修では、県観光・地域振興課や(公社)ツーリズムおおいた等で11月23日まで観光行政を学び、帰国後は咸寧市の観光事業の発展に役立てるほか、湖北省と県との架け橋として活躍いただきます。(国際政策課)



熊 セイさん
※セイは「女」偏に「青」



大分県内注目記事（5月）

※国際政策課にて新聞等を元に作成



大分県立美術館（OPAM）のオープニング展決定

2015年の春にオープン予定の県立美術館のオープニング展の内容が明らかになりました。県立美術館の新見隆館長は、県立美術館イベント「オーパムフェスタ」のシンポジウムにて「モンドリアンやターナーら19～20世紀の欧州モダン巨匠作家の作品を展示し、大分が誇る田能村竹田や福田平八郎、高山辰雄らの作品と対比させながら、名画200選の形で一堂に紹介したい」と述べました。



（県立美術館ロゴマーク）



大分県産乾しいたけ輸出拡大！

本県乾しいたけの輸出量が年々拡大しています。特に香港市場では、2011年度から大分県椎茸農協が売り込みを強化し、city super等との取引を開始した結果当初70Kgだった輸出量を2013年度には約700Kgにまで伸ばしました。

台湾、タイ、カナダなどにも輸出しており、今後は欧州市場の調査も行い、2014年度には1.2トンの輸出を目標にしています。



武漢で売られています！大分のシュークリーム

大分市のケーキ屋さん「ベルクール」は、2011年中国人の投資家と共同出資で、市の中心部に位置する富裕層向けショッピングモールにシュークリーム店「丸山泡芙」を出店しました。値段は一個あたり10～18円で、湖北省の都市住民の1日の食費約15元に相当する高級品ですが、それでも1号店の人気は開店当初からうなぎのぼりで、3年目には1ヶ月あたりの売り上げが当初から約2倍に増え、1日平均約1千個売られています。



（中国湖北省武漢市の店舗の様子）



大分県内のパスポート発行状況について

2013年の大分県内のパスポート発行総数は2万688件で、12年の2万8,162件に比べ26.5%減と大きく落ち込みました。全国の実行総数は329万6,810件で大分県は発行件数で全国33位でした。これまでの県の発行件数の推移をみると、海外渡航者数の増加とともに95年に初めて4万件を超え、00年には過去最高の4万6,677件を記録しました。しかし、01年の米国同時多発テロにより減少傾向となり、03年のイラク戦争開始と同年の世界的なSARSの流行により激減しました。04年以降は、やや増加に転じ、その後は概ね2万件台後半の水準で推移していましたが、13年は、03年以来のやや大きな減少となりました。





ニューヨーク大分県人会からお便りをいただきました。

～ニューヨーク大分県人会長 近藤様から～

ニューヨーク大分県人会 ニューヨーク(NY)に大分県人会は「こげなとこで大分しに出会うご縁は特別やけん」という気持ちからか、集まればNYの賑やかな街中であろうが、大分弁で話す仲間達は、県人というより「親戚」に近い感覚のつながりがあります。この1年間は、マンハッタンの摩天楼が見える眺望のルーズベルト島でBBQ大会、NJ日本人会秋祭りでは、宇佐市からのご協力を得て、からあげ君ハッピーを着て、宇佐カラアゲとしてブースを出して参加し、2時間で売り切れるという程の人気ぶりでした。年末には団子汁とリュウキュウと鶏めしで忘年会を行い、1月の新年会は杵と臼でお餅つきを行いました。また随時大分からNYを訪れる方々とも歓迎食事会を行ったりもしています。



ニューヨーク大分県人会集合写真



ロサンゼルス大分県人会 會田会長が来庁されました。



會田会長(右)と県企画振興部長

5月21日(水)、ロサンゼルス大分県人会長の會田様が県庁を訪問され、県人会活動状況や現地事情等について県企画振興部長と意見交換を行いました。ロサンゼルス大分県人会は、2017年に設立100周年を迎える歴史のある大分県人会です。會田会長は、20代で渡米され、長らく県人会活動にも携わっておられます。「LAを含め、南カリフォルニアには多くの日系人が暮らしており、県人会活動も盛ん。100周年記念行事をぜひ成功させたい。」と、會田様は同県人会への熱い想いを語っておられました。



カナダ大分県人会 廣田様が来庁されました

5月22日(木)、カナダ大分県人会の廣田様(県人会長の御子息)が県庁を訪問され、県人会活動やデザインを通じた交流、県立美術館等について意見交換を行いました。建築やデザインを通じた交流に興味がある方は、ぜひご連絡をしてみたいでしょうか？



世界の大会県人会の皆様初めまして。別府市生まれ、カナダ育ちの廣田瑛太郎です。

別府市は両親の故郷で、幼少期から数年に一度里帰りし、大分県の文化に触れてきました。私の祖父母は十年程前まで亀川で温泉旅館を経営しており、亀川に帰る度に近所の方々にその旅館の孫として、「おかえり」と声をかけて頂いた事が記憶に残っています。

現在、バンクーバーで建築士として、主に老人ホームなどの福祉施設のデザイン/設計に携わっています。私は、老人ホームを小さな町と考えます。勿論、施設としての安全性と機能性は重要だと思いますが、快適な生活環境をデザインする上で「おかえり」や「ただいま」と言葉を交わせる様なコミュニティ作り(町作り)も欠かせないと思います。そのような生活環境を造り出すには、建築空間が町のコミュニティと繋がりを持てるような開放的なデザインであり、近隣の人々と何らかの関係を持つ必要があると思います。

亀川温泉には、そのように近隣の方々が気軽にコミュニケーションが出来るように創られた建物が多かった印象があります。勿論うちは旅館だったので、フロントまではだれもが自由に入ることができ、ドアベル代わりに「ごめんください。」と声がかかれば、「はい」といって出迎えるのが普通でした。カナダでは誰かの家を訪れた際に掛け合う言葉はないので、それは特別に印象的でした。大分に帰った時感じた、カナダと日本との生活習慣の違いは何らかの形で自分のデザインに影響していると思います。

皆さんとこう言ったエピソードの交換や、デザイン関係者の方々とはデザイン交流が出来ればと思っています。どうぞよろしくお願ひします。(連絡先:廣田瑛太郎) oratorih@gmail.com



(大分県庁にて)



(カナダにて)



県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。



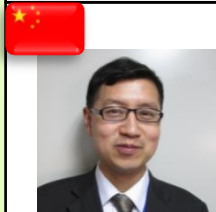
林 泰男
(Taenam Lim)
県国際交流員
韓国(ソウル)
pu101502@pref.oita.jp

韓国済州道から始まり、今や九州各地に展開しているトレッキングコース「オルレ」に、大分の新たなコース「九重・やまなみコース」がオープンしてから早4ヶ月が経ちました。この「九重・やまなみコース」で13日、駐福岡韓国総領事館の朴鎮雄(パク・ジンウン)総領事と一緒にコースを歩くイベントが行われました。前日まで雨が降って心配だったのですが、当日は見事に晴れて暑く感じるくらいでした。九重「夢」大吊橋で総領事と九重町長の記念植樹が行われた後、ゴールの長者原までおよそ12kmのコースを歩きました。さすがに走破するとどっと疲れが押し寄せてきましたが、道中で色んな素敵な景色に巡り会うことができました。これからもより多くの方々にこの景色を見ていただければと思います。



ニコール・フリン
(Nicole Flynn)
県国際交流員
オーストラリア(QLD)
pu101503@pref.oita.jp

5月末に友達と一緒に久住町にあるくじゅう花公園にドライブに行きました。素晴らしい天気のおかげで、友達としゃべりながら久住高原のきれいな青々とした景色が楽しめました。5月下旬はポピーとネモフィラの見頃です。オーストラリアなどの英連邦の国々には、赤いポピーが休戦記念日を代表する花として広く知られているから、私は今まで赤いポピーしか見たことがなかったです。花公園のポピー畑に黄色、オレンジ、ピンクなどのポピーを初めて見ることができたのでとても嬉しかったです。花畑を回った後、やはりソフトクリームが食べたくまりました。様々な花とフルーツ味の季節ソフトがあって、少し悩んでいましたが結局ローズ・ソフトクリームにしました。とても美味しかったです！6月からラベンダーとケイトウが咲き始めるそうです。季節の花がそれぞれで面白いですね。



楊 綱
(Yang Gang)
県国際交流員
中国(湖北省)
pu101501@pref.oita.jp

5月4日、杵築市のお城祭りを見学に行く予定が電車で乗り間違え、特急ソニックに乗ったまま中津市まで到着しました。中津も素晴らしい観光地と聞いていたので、急遽中津城と福沢諭吉の旧居を見学することにしました。GWの連休中なので、観光客が大勢いました。徳川家と緊密な繋がりがあった奥平家や中津城の歴史を学ぶいい機会になりました。「天は人の上に人を作らず、人の下に人を作らず」という名言で知られている福沢諭吉の旧居も学問的雰囲気溢れて素晴らしかったです。帰る途中で宇佐神宮へ寄りました。この神社の創建は欽明天皇32年(571年)頃とされ、全国に約44,000社ある八幡宮の総本社であることも分かりました。三つの所はみんな歴史上の名所で、タイムマシンで昔の日本に行ったと感じました。今後ぜひ大分の歴史名所を見学に行きたいと思っています。



〈国際交流最前線〉 ～「おおいた国際交流プラザ」～

おおいた国際交流プラザでは、県内在住外国人をはじめ県内関係団体等に対し最新の情報をお届けすることを目的として、日本語機関誌「La Estacion (スペイン語で駅の意)」、英文情報誌「THE TOMBO」、中国語情報誌「大分情報」の3紙を発行しています。最新号をはじめバックナンバーについてもおおいた国際交流プラザホームページで閲覧できますので一度ご覧ください。

【おおいた国際交流プラザURL】<http://www.oitaplaza.jp/japanese/publications>



話題提供のお願い！！

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！(様式は任意です)

【記事提供先／お問い合わせ先】
国際政策課 担当:猿渡(さるわたり)
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp



なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～

【宇佐市／豊後大野市】



(宇佐市)
「安心院の朝霧」
朝夕の気温差が激しい
安心院盆地



(宇佐市)
「東雅屋の滝」
日本の滝百選に
数えられる名瀑



(豊後大野市)
「普光寺磨崖仏」
岩壁に刻まれた
高さ11.4mの石仏



(豊後大野市)
「御嶽流神楽」
約560年の歴史を持つ
素朴で勇壮な神楽